

## 第2章

# 市民の健康をめぐる状況



## 第2章 市民の健康をめぐる状況

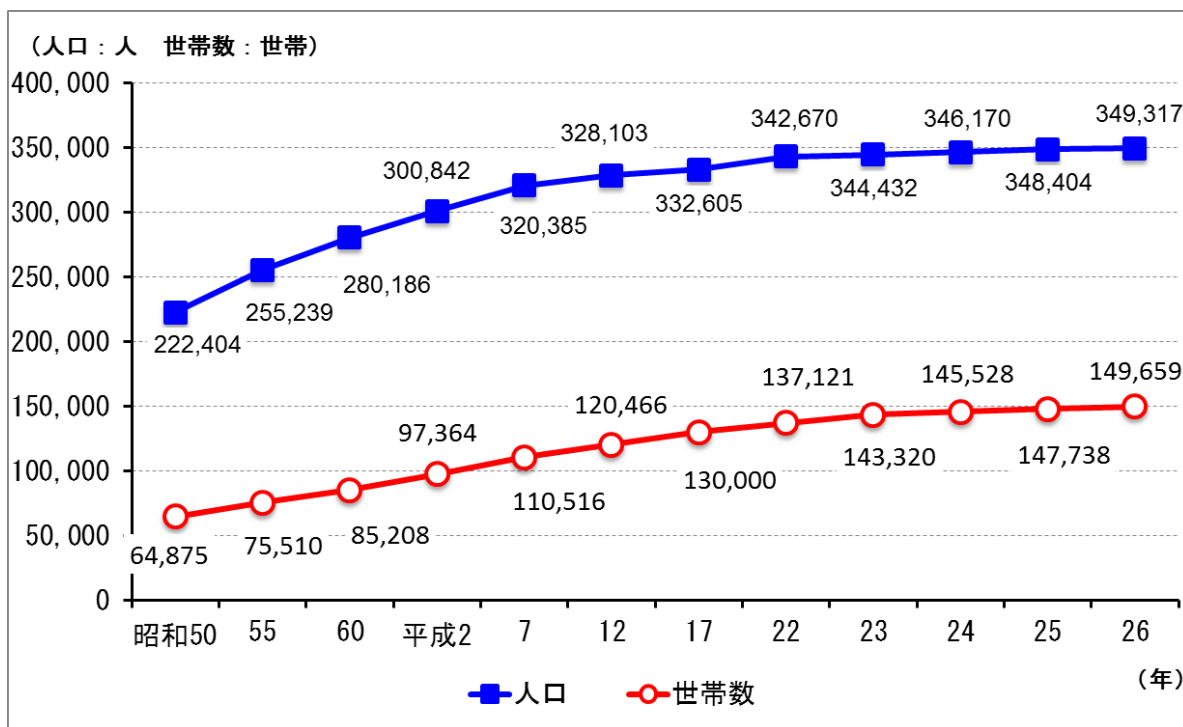
### 1. 本市の人口

#### (1) 人口と世帯数の推移

本市の人口は、国勢調査で昭和50年(1975年)222,404人から平成22年(2010年)の342,670人へと大きく増加しました。世帯数も、64,875世帯から137,121世帯へと増加しています。

平成26年10月1日現在の人口と世帯数は、349,317人と149,659世帯となっています。

川越市の人口及び世帯数の推移



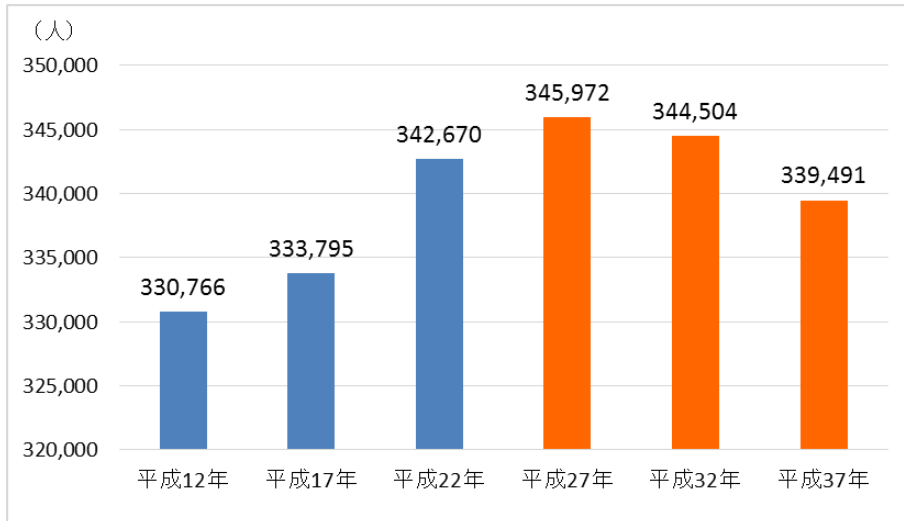
(資料)国勢調査:平成22年まで(10月1日現在)

川越市情報統計課資料:平成23~26年まで(10月1日現在)

(2) 将来人口予測

本市の将来人口予測は、平成 27 年度をピークに減少に転じることが予測されています。

将来推計人口

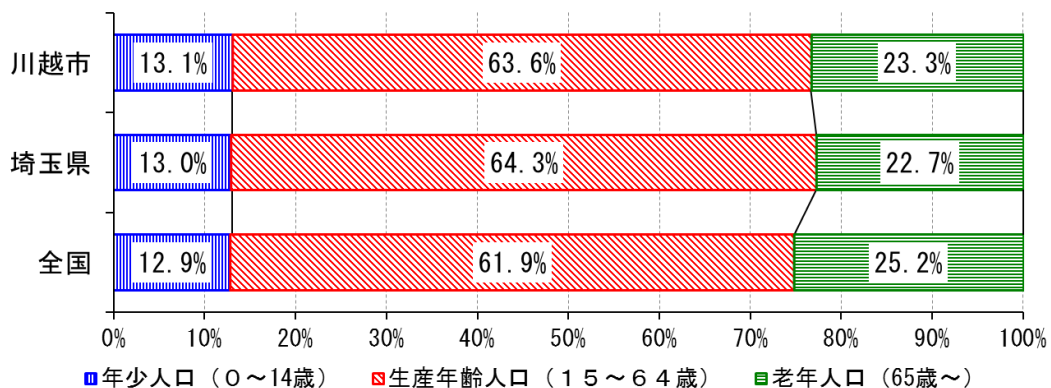


(資料) 平成 22 年国勢調査、男女・年齢(5 歳)階級別データ--『日本の地域別将来推計人口』  
(平成 25 年 3 月推計)

(3) 年齢3区分別の人口の割合

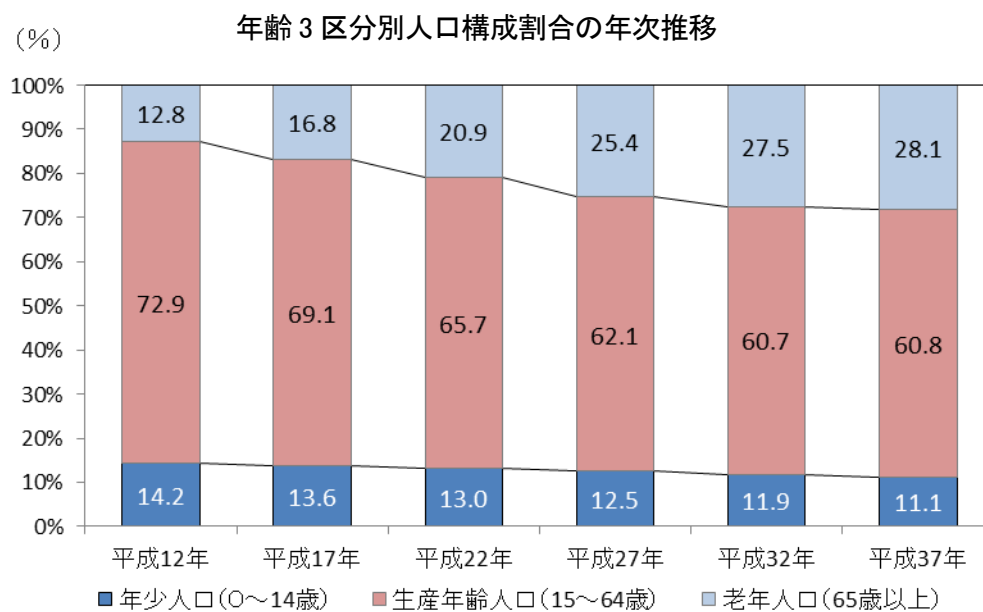
平成 26 年 1 月 1 日現在における本市の年齢 3 区分（年少人口、生産年齢人口、老年人口）別人口構成割合は、65 歳以上の老年人口の比率が 23.3% を占め、埼玉県の 22.7% と比べるとやや高くなっていますが、全国の 25.2% より低くなっています。

年齢 3 区分別人口構成割合(平成 26 年)



(資料) 川越市: 埼玉県町(丁)字別人口(平成 26 年 1 月 1 日現在)  
埼玉県: 埼玉県町(丁)字別人口(平成 26 年 1 月 1 日現在)  
全国: 総務省統計局(平成 26 年 1 月 1 日現在)

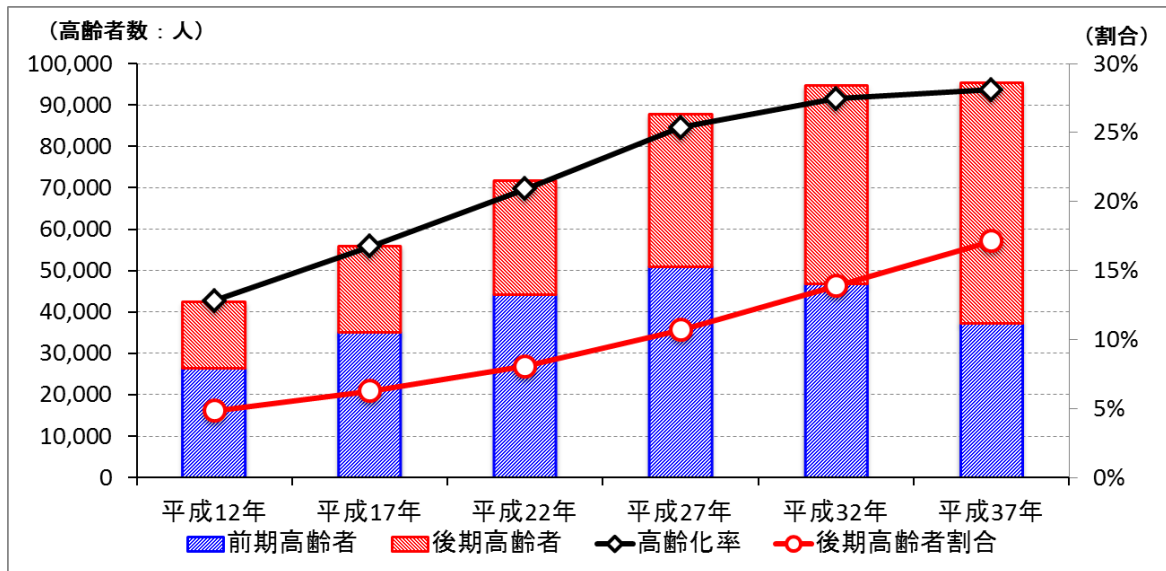
また、年齢3区分別人口構成割合の年次推移をみると、老年人口（65歳以上）の割合は年々増加することが予測されます。



(資料)平成22年国勢調査、男女・年齢(5歳)階級別データ『日本の地域別将来推計人口』(平成25年3月推計)  
(平成22年は年齢不詳を含んでいない)

65歳以上の高齢者は継続的に増加し、平成37年には高齢化率が、27.5%になると予測されています。また、後期高齢者割合も平成37年まで継続して増加していくことが予測されています。

高齢化の推移と将来推計



	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年
	国勢調査			将来推計人口		
総人口	330,766	333,795	342,670	345,972	344,504	339,491
高齢化率	12.8%	16.8%	20.9%	25.4%	27.5%	28.1%
高齢者人口 (65歳以上)	42,377	55,929	71,713	87,786	94,596	95,434
前期高齢者 (65~74歳)	26,406	35,003	44,049	50,793	46,713	37,240
後期高齢者 (75歳以上)	15,971	20,926	27,664	36,993	47,883	58,194

(資料)平成22年までは国勢調査

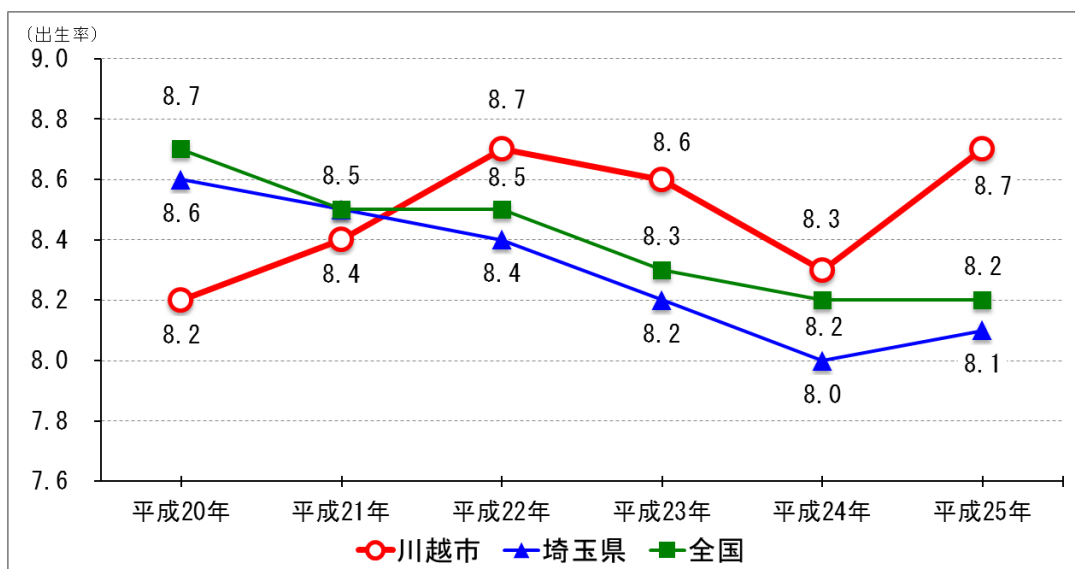
(資料)平成27年以降は「日本の市町村別将来推計人口(平成25年3月推計)」「平成22年国勢調査人口を基準に推計)

## 2. 出生について

### (1) 出生率の推移

本市の出生率は、平成20年から平成22年にかけて増加し、その後はいったん減少したものの、平成25年には再度、増加傾向に転じました。平成25年度の本市の出生率は8.7となり、全国の8.2、埼玉県の8.1を上回っています。

出生率の推移(対1,000人)



(資料)人口動態統計及び埼玉県保健統計年報

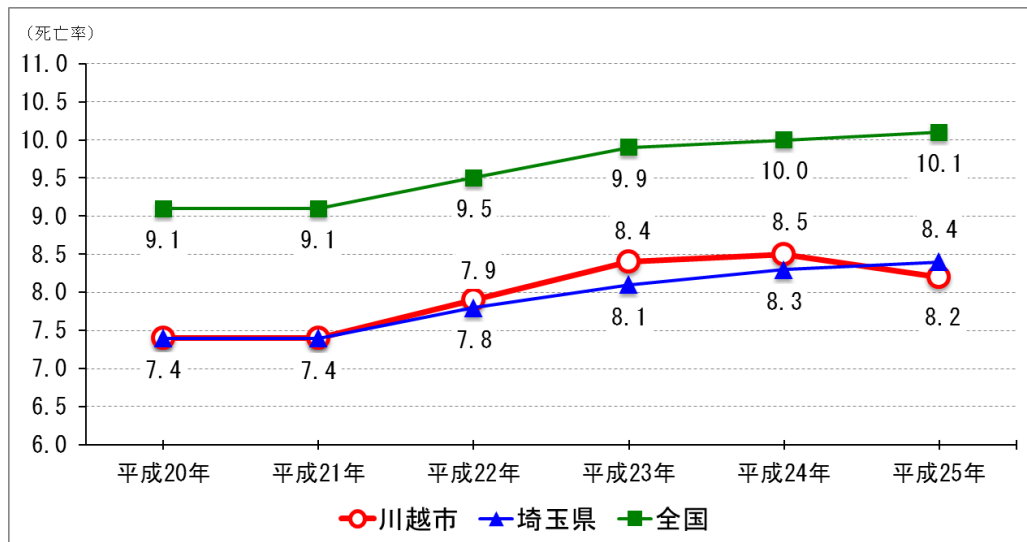
出生率: 出生数/人口 × 1,000

### 3. 死因等について

#### (1) 死亡率

本市の死亡率は、平成21年以降、国や埼玉県と同様に増加しましたが、平成25年に8.2と減少に転じました。平成25年の本市の死亡率は国の10.1や埼玉県の8.4を下回っています。

死亡率の年次推移(対1,000人)



死亡率: 死亡数/人口 × 1,000

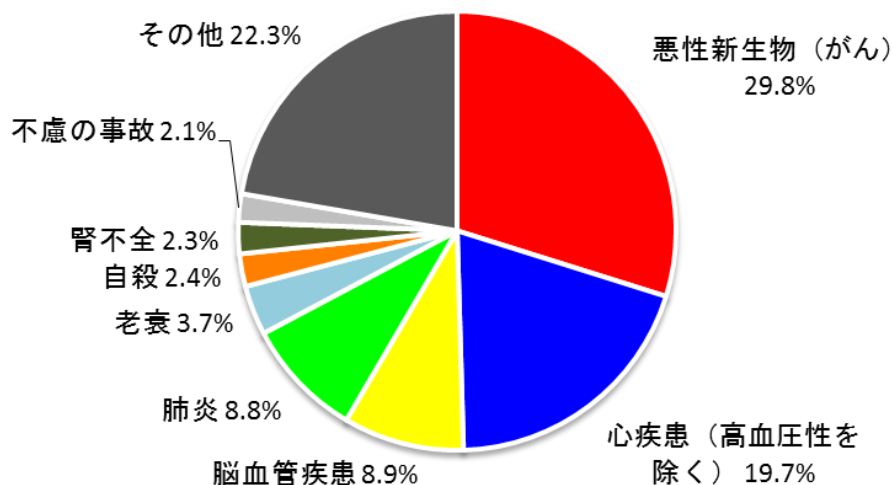
(資料)人口動態統計及び埼玉県保健統計年報



## (2) 主な死因

本市の死因の第1位は、「悪性新生物（がん）」（29.8%）であり、第2位の「心疾患（高血圧性を除く）」（19.7%）と第3位の「脳血管疾患」（8.9%）を合わせた三大生活習慣病による死亡は全体の58.4%を占めています。続いて、近年増加してきた「肺炎」が8.8%となっています。

死因別死亡割合（平成24年）



死因別死亡割合（平成24年）

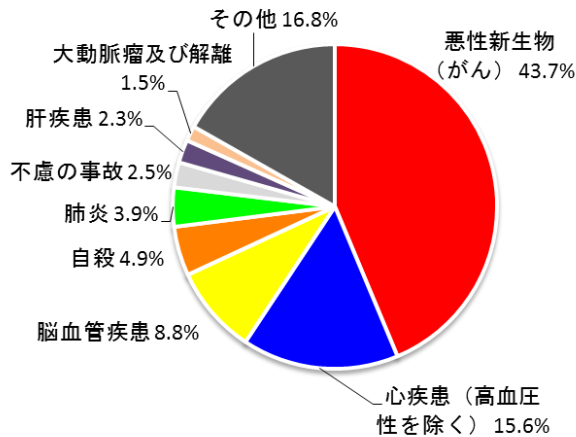
単位：人

		死亡数	(%)
全死因		2,949	100.0
第1位	悪性新生物(がん)	880	29.8
第2位	心疾患(高血圧性を除く)	581	19.7
第3位	脳血管疾患	262	8.9
第4位	肺炎	260	8.8
第5位	老衰	108	3.7
第6位	自殺	71	2.4
第7位	腎不全	68	2.3
第8位	不慮の事故	62	2.1
その他		657	22.3

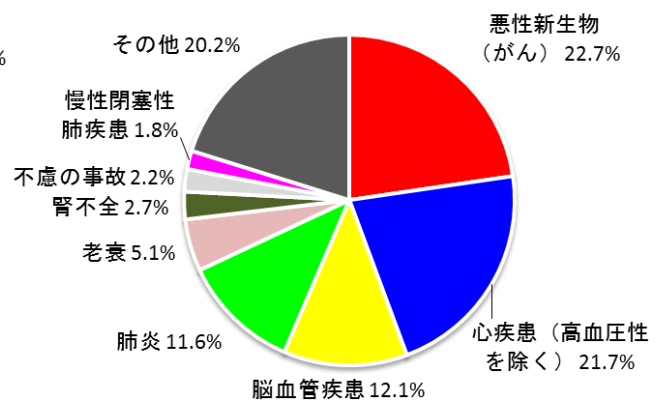
(資料)人口動態統計

年代別に見ると、「40歳～74歳」では、「悪性新生物（がん）」が4割強を占めています。また、「75歳以上」では「肺炎」の比率が増加しています。

40～74歳死因別死亡割合  
(平成20～24年)



75歳以上死因別死亡割合  
(平成20～24年)



〈参考〉

ライフステージ別死因順位(平成20年～24年)

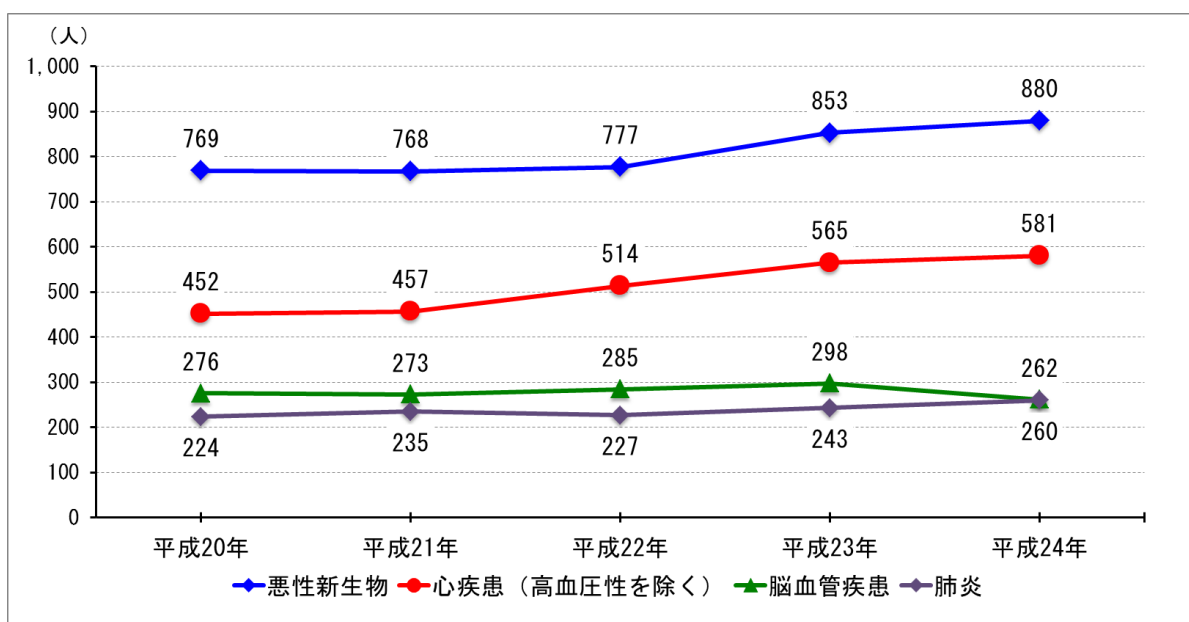
	幼年期 (0～4歳)	少年期 (5～14歳)	青年期 (15～24歳)	壮年期 (25～44歳)	中年期 (45～64歳)	高齢期 (65歳以上)	総数
第1位	先天奇形、変形及び染色体異常 16.7%	悪性新生物 20%	自殺 62.2%	自殺 32.2%	悪性新生物 45.5%	悪性新生物 28.0%	悪性新生物 30.2%
第2位	周産期に発生した病態 11.9%	その他の新生物 20%	不慮の事故 11.1%	悪性新生物 24.8%	心疾患(高血圧性を除く) 15.4%	心疾患(高血圧性を除く) 20.2%	心疾患(高血圧性を除く) 19.1%
第3位	その他の新生物 9.5%	不慮の事故 20%	悪性新生物 6.7%	心疾患(高血圧性を除く) 11.7%	脳血管疾患 8.6%	脳血管疾患 10.9%	脳血管疾患 10.4%
第4位	敗血症 7.1%	肺炎 10%	心疾患(高血圧性を除く) 2.2%	不慮の事故 7.6%	自殺 7.6%	肺炎 10.3%	肺炎 8.9%
第5位	心疾患(高血圧性を除く) 7.1%	自殺 10%	脳血管疾患 2.2%	脳血管疾患 6.0%	肝疾患 2.6%	老衰 3.9%	老衰 3.2%
第6位	悪性新生物 4.8%		大動脈瘤及び解離 2.2%	肝疾患 2.7%	肺炎 2.3%	腎不全 2.3%	自殺 2.9%
第7位	腸管感染症 2.4%		先天奇形、変形及び染色体 2.2%	ウイルス肝炎 0.5%	不慮の事故 2.2%	不慮の事故 2.3%	不慮の事故 2.4%
第8位	ヘルニア及び腸閉塞 2.4%		他殺 2.2%	糖尿病 0.5%	糖尿病 1.2%	慢性閉塞性肺疾患 1.6%	腎不全 2.0%
	その他 38.1%	その他 20%	その他 8.9%	その他 13.9%	その他 14.7%	その他 20.6%	その他 20.9%

資料：人口動態統計 ※死因順位に用いる分類項目による。死亡割合が同率の場合は死因简单分類のコード番号順に掲載している。9位以下は8位と同率であっても掲載していない。

## (3) 3大死因及び肺炎の年次推移

本市の平成20年から平成24年までの間の3大死因及び肺炎による死亡数の推移は、悪性新生物（がん）及び心疾患が高位に推移しているとともに、増加傾向にあります。

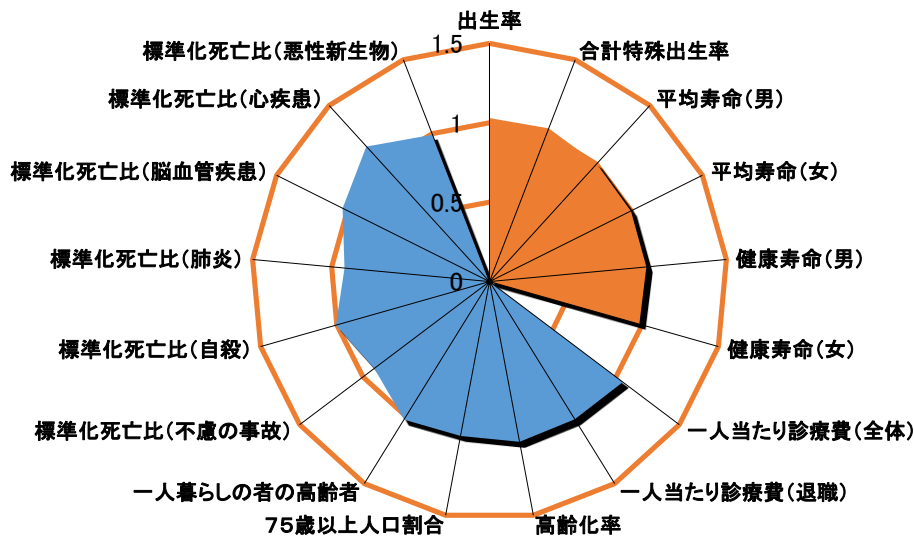
3大死因及び肺炎の年次推移



## 4. 健康指数について

埼玉県を1とした場合の川越市の健康指数は 17 項目のうち、13 項目が 1.0 と県と同指数となっています。

【川越市の健康指数（平成 25 年度）】



【埼玉県を1とした健康指数】

項目	健康指数	概要
1 出生率	1.0	* 合計特殊出生率は1.26で、埼玉県の1.0倍です。
2 合計特殊出生率	1.0	
3 平均寿命(男)	1.0	* 健康寿命(男)は、県内で39位です。
4 平均寿命(女)	1.0	* 健康寿命(女)は、県内で50位です。
5 健康寿命(男)	1.0	* 一人当たりの診療費(全体)は227,024円で、埼玉県の1.1倍です。
6 健康寿命(女)	1.0	
7 一人当たり診療費(全体)	1.1	* 一人当たりの診療費(退職)は278,756円で、埼玉県の1.0倍です。
8 一人当たり診療費(退職)	1.0	
9 高齢化率	1.0	* 高齢化率は20.9%で、
10 75歳以上人口割合	1.0	埼玉県の1.0倍です。
11 一人暮らしの高齢者	1.0	* 75歳以上人口割合は8.1%で、
12 標準化死亡比(悪性新生物)	1.0	埼玉県の1.0倍です。
13 標準化死亡比(心疾患)	1.2	* 三大疾患のうち、埼玉県より標準化死亡比が高いのは心疾患、脳血管疾患です。
14 標準化死亡比(脳血管疾患)	1.0	
15 標準化死亡比(肺炎)	0.9	
16 標準化死亡比(自殺)	1.0	標準化死亡比が低いのは
17 標準化死亡比(不慮の事故)	0.9	悪性新生物です。

(資料) 一人当たり診療費：国民健康保険事業状況(平成 23 年度)

高齢化率・75歳以上人口の割合・一人暮らしの高齢者：国勢調査(平成 22 年)

平均寿命・健康寿命：埼玉県の健康寿命算出ソフト「健寿君」(平成 24 年)

標準化死亡比：埼玉県の年齢調整死亡率とSMR算出ソフト「スマール君」(平成 20 年～24 年)

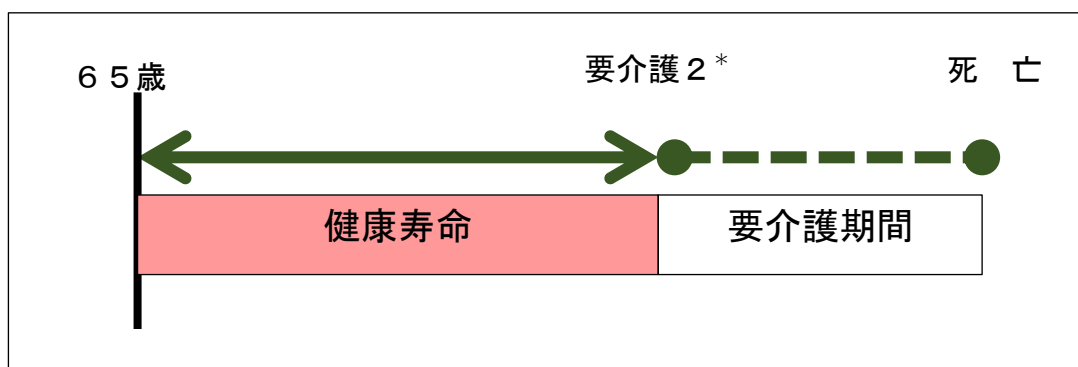
出生率・合計特殊出生率：「ツール君」(平成 20 年～24 年)

## 5. 健康寿命について

健康寿命には様々な定義や算出方法がありますが、埼玉県では65歳になってから介護保険制度の要介護2\*以上になるまでの平均的な年数を健康寿命としています。

本市は県の算出方法に準じて、健康寿命を算定しています。平成24年の本市における健康寿命は、男性が16.73年、女性が19.42年となっており、埼玉県下では、男性が39位、女性が50位となっています。

健康寿命の期間



\*「要介護2」とは、食事や排せつ、移動など日常生活で介護が必要となる状態です

川越市の平均寿命と健康寿命

(平成24年)

単位:年

	総数	男	女
平均寿命(0歳平均余命)	—	79.96	85.75
65歳平均余命	—	18.66	23.38
65歳健康寿命	—	16.73	19.42
65歳要介護期間	—	1.93	3.97
要介護等認定率(65歳以上)	13.8%	9.9%	17.0%

資料:埼玉県の健康寿命算出ソフト「健寿君」